

令和2年度 長崎県立大村工業高等学校 自己評価表(職員)

学校	真理と正義を愛し、平和的な郷土および国家を担う責任を自覚し、社会の発展に寄与する心身ともに健康な工業技術人を
学	『精神一到くせいしんいっとう』～人間力の向上～
前年度	前年度は前期学校評価をもとに分掌・学科・学年の組織評価そして本年度の組織目標に反映させた。全職員の総意のもと
本年度重点	(1)生徒一人ひとりの個性を尊重し、社会性豊かな工業人を育てる。

※次の4～1の評価を、別紙の回答用紙にマークして下さい。

評価項目	具体項目	目標	具体的方策	評価	R2後期	R2前期	R1後期	R1前期	H30	
1 組織運営	教育活動の円滑化、教師集団の協調性に関わる	教育的成果の評価								
校務分掌	組織的な活動と運営	分掌内規の再検討と各分掌間の連携を図る。	各分掌内規の見直しを図る。	(1)	2.9	3.0	3.0	3.0	2.8	
			各分掌間の連携・連絡を密にする。	(2)	2.9	3.0	3.0	3.0	2.9	
2 学校経営	全職員が共通の理念に	たつた教育的成果の評価								
学校経営	職員意識向上	全職員がチームとして、互いに協力・補佐し、生徒の規範意識の向上に努める。	正副担任・顧問・教科担任等全職員が連携を強め、生徒のしつけ、問題行動の予防、規範意識の向上を図る。 一人でも抱え込まない、協力的な協力体制を築き、お互いを補佐する気持ちを持つ。	(3)	3.0	3.0	3.0	3.1	3.1	
				(4)	2.9	2.9	2.9	3.1	3.0	
	1学年経営	基本的な生活習慣を確立させ、大村工業生としての自覚を持たせる。	欠席・遅刻・早退がないように、自己管理に努めさせる。		(5)	2.8	2.8	3.1	3.1	3.2
			正しい整髪服装、フンストップ挨拶を定着させる。		(6)	2.8	2.8	3.0	3.0	2.9
			学習活動、各種行事等に熱意を持った態度で取り組むよう促す。		(7)	2.9	2.9	3.1	3.0	3.0
			真剣に授業に参加する態度を定着させ、基礎学力の向上を図る。		(8)	2.9	2.8	2.9	3.0	2.9
			学習に主体的に取り組む態度を育て、進路について自ら考えさせる。	各種資格取得に本気で取り組ませ、達成感、充実感を持たせることで、専門学科への興味・関心を深めさせる。	(9)	3.0	3.0	3.2	3.1	3.1
				企業見学会や職業講話・進路ガイダンス等を通して、進路目標を確立させる。	(10)	2.9	2.9	3.1	3.1	3.0
	2学年経営	中堅学年としての自覚を持ち、主体的な学校生活を送らせる。	フンストップ挨拶を心がけさせ、健康的で規則正しい生活を送らせる。		(11)	2.8	2.8	3.0	3.0	3.1
			学習と部活動の両立を実現させる。		(12)	2.9	2.8	3.0	3.0	2.8
			行事や特別活動などに、積極的に取り組ませる。		(13)	3.1	3.1	3.2	3.1	3.1
			校歌、第二応援歌をしっかりと歌うことで愛校心を育む。		(14)	2.6	2.6	2.9	2.8	
			授業や家庭学習などに対して主体的に取り組む態度を育む。	真剣な態度で授業に取り組ませ、自ら考え学ぶ姿勢を身につけさせる。	(15)	2.8	2.8	2.9	2.9	2.9
				たくさんの資格取得・検定試験に意欲的に取り組ませる。	(16)	3.1	3.0	3.1	3.2	3.1
	3学年経営	進路について深く考えさせ、進路実現に対する意識付けを図る。	大人としての礼儀やマナーを習得させ、社会人になるための心構えを持たせる。		(17)	2.9	2.8	3.0	3.0	3.0
			進路ガイダンスやインターンシップを通して、自身の進路を確立させる。		(18)	3.0	3.0	3.1	3.1	3.1
			生徒・保護者の希望を尊重した進路実現を目指し、生徒が自分の持てる力をすべて発揮できるよう指導する。	生徒、保護者、学校で、企業や大学・専門学校等の情報を共有し、納得できる進路指導を目指す。 社会人としての態度や常識を身につけさせ、社会性豊かな生徒を育てる。	(19)	3.1	3.2	3.2	3.1	3.2
				行事や特別活動などに、積極的に取り組ませる。	(20)	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
自ら学ぶ姿勢を身につけさせる。			授業への取り組み方など、主体的に行動できるように指導する。 各種の資格試験及び検定試験等に意欲的に取り組み、多くの資格を有して卒業させる。	(21)	3.3	3.3	3.2	3.2		
			大村工業高校を支える自覚と行動を促し、社会に貢献する姿勢を身につけさせる。	(22)	3.0	3.0	3.0	3.1	2.9	
学級経営	学級目標の設定	各学級の目標を設定する。	各学級の具体的な目標を設定し、その実現に努める。	(23)	3.1	3.1	3.1	3.2	3.2	
				(24)	3.0	3.0	3.1	3.0	3.1	
3 教育活動	教育活動全般における	計画的・組織的な教育的成果の評価								
教科指導	教育課程の編成	本校の実態に即した、特色ある教育課程を編成する。	生徒の多種多様な進路実現に向けた教育課程の編成を検討する。	(25)	3.1	3.1	3.1	3.0	3.0	
				(26)	3.0	3.0	3.1	3.0	3.1	
	基礎学力の向上	基礎基本の充実。	基礎・基本を大切に丁寧な授業に努める。		(27)	3.0	3.0	3.1	3.0	3.1
			家庭学習の確保に取り組み、基礎学力の定着を図る。		(28)	2.6	2.6	2.6	2.5	2.6
			周到に準備された教材と板書による充実した授業に努める。		(29)	3.0	3.0	3.1	3.0	3.1
			個々の疑問・質問にも丁寧な対応をし、成績不振者には早めに対策を行う。		(30)	3.1	3.0	3.1	3.1	3.1
			評価項目や基準を適切に設定し、生徒に認識させる。		(31)	3.0	3.0	3.1	3.1	3.0
			個々の生徒の能力・努力が適切に評価されるように努める。		(32)	3.1	3.1	3.2	3.1	3.1
	適切な学習評価	評価基準の設定に努める。			(33)	3.0	3.0	3.1	3.1	3.0
					(34)	3.1	3.1	3.2	3.1	3.1
指導力の向上	研究授業などの定着と充実。	定期的な研究授業・研究協議を実施し、互いの指導力の向上に努める。		(35)	2.9	2.8	2.8	2.8	2.9	
				(36)	2.9	2.9	3.0	3.1	3.0	
生徒指導	基本的な生活習慣の育成	生徒の自主性をのばし、規律ある生活態度が樹立できるように積極的に指導する。	授業や部活動等において、全職員で生徒指導に取り組む。	(37)	2.9	2.9	3.0	3.1	3.0	
		自らを集団の一員として自覚し、規範意識の向上に努めさせる。	諸規則違反はLHRや生徒会活動の中で集団の問題としてとらえさせ、一人ひとりが自分のこととして考えることによって自らの力で解決させるように働きかける。	(38)	2.9	2.9	3.1	2.9	2.9	
進路指導	適切な進路指導	多種多様な希望の進路実現を目指す。	進路情報を積極的に提示し、学年ごとに適した進路指導とガイダンスを推進する。	(39)	3.1	3.1	3.2	3.1	3.2	
			就職・進学内定率100%を目指す。	(40)	3.3	3.2	3.3	3.2	3.3	
特別活動	特別活動	工業高校らしい特色ある取り組みを実践する。	実践的工業人育成のため、資格取得、インターンシップ、ものづくり教育の推進に努める。	(41)	3.2	3.2	3.1	3.2	3.2	
		効果的な行事の工夫をする。	授業時数の確保も考慮に入れた、行事の精選を図る。	(42)	2.9	2.9	2.7	2.8	2.8	
		部活動の活性化を目指す。	体育祭(や工業祭)などの行事では、自主性を尊重し、工業高校の特性を生かせるよう計画する。	(43)	3.1	3.1	3.2	3.2	3.2	
			顧問間で連携し、目標に向かって積極的に活動する。	(44)	3.1	3.1	3.2	3.3	3.2	
4 教育環境	学校の置かれている	条件や環境に関わる教育的成果の評価								
環境整備	明るい学校環境の整備	公共心を育成する。	毎日の清掃の徹底と公共物を大切にすることを育て、気持ちのよい環境にする。	(45)	2.9	2.8	3.1	3.0	3.0	
		教育に必要な施設、設備を整える。		(46)	3.0	3.0	3.0	3.0	3.1	
		省エネ・省資源を推進する。	紙・水道・電気の使用量の削減に努め、リサイクル運動の推進を図る。	(47)	2.8	2.8	2.8	2.8	2.9	
情報インフラの設備・充実	教育活動全般の情報化	学校便りとホームページを充実させる。	HPの更新を定期的に行い、大工だより、進路だより等充実させ、学校の情報を積極的に発信する。	(48)	3.1	3.1	2.9	3.0	3.1	
		校内LANの利用を促進する。	進路情報を教室で検索できるようにする。	(49)	3.1	3.1	3.1	3.0	3.1	
		文書の電子化を促進し、業務の効率化を目指す。		(50)	2.9	2.8	3.0	3.0	2.9	
				(51)	2.9	2.8	3.0	3.0	2.9	
5 開かれた学校づくり	保護者や地域等との	連携における教育的成果の評価								
開かれた学校	保護者との連携	協力体制を確立する。	保護者との連絡を密にし、生徒・保護者の悩みや相談に丁寧な対応をする。	(52)	3.1	3.1	3.2	3.2	3.1	
		地域の人々や関係機関との連携	公開講座を開催する。	(53)	2.6	2.5	2.8	2.8	2.9	
			中高連携事業や広報活動を推進する。	(54)	3.1	3.0	3.2	3.1	3.1	
			ボランティア・奉仕活動に取り組む。	(55)	2.7	2.7	2.7	2.8	2.7	
6 生徒の教育成果	学校教育の主たる	知・徳・体の三分野からその学校の教育活動全般を通して生徒の教育的成果の評価								
		豊かな人間性	ルールを守り、困難に打ち勝つ大きな心を持っている。	(56)	2.8	2.8	3.0	3.0	3.0	
学力の定着・向上	基礎基本の定着	自らの学習目標を設定している。		(57)	2.8	2.7	2.7	2.8	2.7	
		真剣な態度で学習に取り組んでいる。		(58)	2.8	2.8	2.9	2.9	2.8	
健康・体力	健康管理	自ら健康管理に努め、清潔安全と健康に配慮している。		(59)	3.0	3.0	3.1	3.2	3.1	
		健全な生活習慣に努め、基礎体力の向上に努めている。		(60)	3.1	3.1	3.1	3.2	3.1	